

(オプトアウト文書)

## 助産師外来で超音波検査を受けた方へ 研究協力をお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

### 1. 研究の対象

2015 年 4 月～2020 年 3 月に、金沢大学附属病院の助産師外来にて、超音波検査による胎児計測を受けられた方

### 2. 研究の概要

研究課題名

「助産師外来で実施した経腹超音波検査における胎児各部の計測値の分布傾向」

研究期間 2024 年 7 月 2 日～2029 年 3 月 31 日

目標数 全体 108 例

妊娠中に行う超音波検査は、胎児の発育を確認するための重要な検査の一つです。日本の多くの医療機関では、妊婦健診ごとに超音波検査を実施しています。そして、超音波検査は助産師外来や助産所で、助産師の業務の一つとして実施されています。今後も助産師外来の増加や、タスク・シフト/シェア（これまで医師が行ってきた業務の一部を他職種が担うこと）の推進に伴い、助産師が超音波検査を実施する機会が増加していくことが予想され、超音波検査を用いた妊婦様と胎児へのケアの質の向上が期待されています。

この研究では、金沢大学附属病院の助産師外来において超音波検査により測定された胎児各部の計測値について分析を行います。この研究を行うにあたり、皆様の妊婦健診の際に、超音波検査で測定された胎児各部の計測値（BPD：biparietal diameter、AC：abdominal circumference、FL：femur length、胎児推定体重）をカルテから収集させていただき、分析いたします。この研究の結果が、助産師外来で行われる超音波検査による妊婦様と胎児へのケアの質の向上につながることを期待されます。

### 3. 研究の目的・方法について

この研究では、皆様が受けられた経腹超音波検査による胎児各部の計測値（BPD、AC、FL、胎児推定体重）の分布傾向を、助産師外来と医師による妊婦健診とで比較することを目的としています。そのために、電子カルテより必要なデータを収集させていただきます。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

妊婦健診時の電子カルテより、以下の情報を使用させていただきます。

胎児各部の計測値（BPD、AC、FL、胎児推定体重）、CRL：crown-rump length、妊娠週数、分娩予定日、超音波検査によって胎児計測を受けた妊婦健診の日付

カルテを閲覧させていただくため、妊婦様の氏名についても確認させていただきます。

### 5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報を、外部へ提供することはありません。

### 6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

研究の成果は、学位論文公開審査及び、国内外の学会、学術雑誌あるいは学術集会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などがわからない状態で発表します。

### 7. 研究組織

金沢大学における研究実施体制

**研究責任者** 金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授 毎田佳子

**研究分担者** 金沢大学医薬保健学総合研究科 保健学専攻 看護科学領域

健康発達看護学講座 助産学分野 博士前期課程2年 出崎詩夏

金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授 鏡真美

金沢大学医薬保健研究域保健学系 助教 南香奈

## 8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は金沢大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

## 9. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には、研究の対象としませんので、**2024年10月31日まで**に下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、申し出期間が終了している場合や、研究に係るデータの分析が終了している場合、研究結果が既に修士論文として提出されている場合や医学雑誌への掲載がなされている場合、学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

## 10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者 金沢大学 医薬保健学研究域保健学系 教授 毎田佳子

住所 〒920-0942 石川県金沢市小立野5丁目11-80

メールアドレス：maida@staff.kanazawa-u.ac.jp

相談窓口担当者 金沢大学医薬保健学総合研究科 保健学専攻 看護科学領域

健康発達看護学講座 助産学分野 博士前期課程2年 出崎詩夏

住所 〒920-0942 石川県金沢市小立野5丁目11-80

メールアドレス：shina417@stu.kanazawa-u.ac.jp